

10月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

■ ぶどう狩り案内

ぶどう狩りに来たお客様にぶどう狩りのシステム、獲れる品種、食べ頃のぶどうの見分け方などを説明し園内を案内した。わかりやすく味の説明をしたり、お子様の収穫のサポートをしたり、家族写真を撮ってあげたりなど、お客様に楽しんでもらえるよう工夫した。



■ 朝市出展

活動報告を兼ねて朝市にぶどう販売で出店した。予想通り800円のカップはすぐに売り切れて3,000円の房だけが最後残ってしまったことを受けて、出展するイベントのタイプによって販売方法を考えなければいけないと改めて実感した。また、ぶどうを買った後にパネルを掲示していることを案内すると見てくれた方が多くいた。最終的にぶどうを完売できたことはもちろん嬉しかったが、目的である市民の皆さんに地域おこしの活動を知っていただくことも少しはできたと思うのでよかったです。



活動を行った感想など

巨峰と常陸青龍のぶどう狩りは色付きの袋がかかっていてお客様は外から見づらく、ぶどう狩りをしても袋を開けると傷んでいる場合が多かった。今年は特に暑さで痛みが早かったので、ぶどう狩り用にとっておいた巨峰の3分の2は廃棄となってしまった。

ぶどう狩り用のぶどうは袋はかけず傘だけにするか、透明の袋をかけるなど、やり方を工夫しなければいけないと思った。

朝市については来年以降もう少し早い時期に出店して、ぶどうと梨を両方販売したり、ゆっくりパネルを見る時間がない方のためにパネルの資料をまとめた冊子を渡したりするなど改善の余地があると思った。

